

日 食 情 報

1989 NO. 3

米海軍天文台回報 No. 173 より 編 集 部

多重露光による金環日食の撮影 (2) 遠山 御幸

北極圏シベリア皆既日食計画 (2) 森 友和

日食情報センター

編 集 後 記

◎今号は、1990年7月22日の日食情報を中心に編集しました。2号の18～22ページも参照して、図表をご覧ください。

◎遠山さんの「多重露光による金環日食の撮影(2)」では、撮影の体験が書かれています。計算どおり撮影した写真に、光線漏れがあったというものです。原因を遠山さんは、ゼラチンフィルターが太陽の熱でベコベコになったため、と推定しています。これに関連したことを、沖縄金環日食観測報告書(東京理科大学天文研究部日食観測隊)で榊原幸雄さんが報告しています。抜粋してみましょう。「…どうも太陽像が悪化してきたような気がした。ゼラチンフィルターを見てみると、ベコベコになっている。…ゼラチンフィルターは一般的に評価が高いが、日食のように、長時間高温にさらされる撮影では、問題が多い。…」

◎89年の日食情報は今号で終了です。来年も引続きご購入をお願い致します。

日食情報	1989 No.3
	1989年12月10日発行(200部)
発 行 :	日食情報センター 事務局